

古代アメリカ学会第6回西日本部会研究懇談会

「最新技術を駆使したピラミッド研究の現在」



2017年11月26日（日）13:30～ 名古屋大学 文学部棟 127 教室

今回の古代アメリカ研究懇談会では、新たな試みとしてエジプトのピラミッド研究の若手研究者2名をお招きし、3D計測やミュオンといった現在注目されている最先端技術によるピラミッド研究の現在について報告いただきます。古代アメリカの専門家をコメンテーターとし、古代アメリカの建造物研究にどのように生かせるか、情報交換や議論を広げていきたいと思ひます。学会・地域を超えて、新たな学術交流・知識獲得の場にしたいと思ひます。是非この機会にふるってご参加ください。

<発表1> 13:35～15:05（発表時間1時間、コメント+質疑応答30分）

エジプト・ピラミッド研究における3D計測の変遷と展望

【発表者】河江肖剰（名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センター）

【コメンテーター】宮野元太郎（大阪観光大学）

事前申込・不要
参加費・無料
非会員も参加可

<発表2> 15:20～16:50（発表時間1時間、コメント+質疑応答30分）

宇宙線イメージングによるエジプトのピラミッド調査とその技術的展望

【発表者】森島邦博（名古屋大学高等研究院）

【コメンテーター】中村誠一（金沢大学）

<主催> 古代アメリカ学会 <http://jssaa.rwx.jp/>

<問い合わせ> 西日本部会幹事・市川 彰（名古屋大学） ichiaki5@lit.nagoya-u.ac.jp

古代アメリカ学会事務局 jssaa@sa.rwx.jp

<会場への道のり> 地下鉄名城線「名古屋大学駅」1番出口をでて西へ徒歩約2分

